

新制度「教育の質向上に資する学外企画等参加のための補助」開始！

教育開発・学習支援室では、今年度より新しい教育開発支援制度として「教育の質向上に資する学外企画等参加のための補助」を開始いたしました。これまでの京都橘大学の教育開発支援は、全学FD学習会や学科別FD学習会、公開授業、たちばな教育サロンといった学内を中心としたものとなっていました。一方で、学外に目を向けますと教育の質向上に役立つ研修会や各種企画も多く存在しています。そういった学外の機会も積極的に有効活用いただき、先生方の授業づくりや学科のカリキュラム改善等に役立てていただきたいと思いますと考え、本制度を整備いたしました。

本制度により、教育の質向上に資する学外企画等に参加するための参加費や旅費の補助を受けていただくことが可能になります。詳細は、[教育開発学習支援室WEBサイト](#)をご参照ください。なお、直近では以下のような企画があります。

企画名(詳細リンク有)	日程	会場	学内補助申込〆切
SPOD フォーラム	2023年8月23～25日 * 一部のみの参加も可	愛媛大学(松山市)	7月17日
協同教育ワークショップ(ベーシック)	2023年8月26～27日	中村学園大学(福岡市)	7月31日
カリキュラムコーディネーター養成講座	2023年9月20～22日	芝浦工業大学(東京都・江東区)	7月17日
ファカルティディベロッパー養成講座	2023年9月20～22日	芝浦工業大学(東京都・江東区)	7月17日
日本の協同学習	2023年9月30日	Zoom	9月15日

教務課からご案内する企画以外でも、補助対象になることがあります。何かございましたら、一度教務課までご相談いただければ幸いです。

2023年度 第1回 たちばな教育サロン 開催報告

2023年5月31日に、本年度第1回目の「たちばな教育サロン」を対面とオンラインを同時に行うハイフレックス形式で開催し、教職員含めて50名の方にご参加いただきました(過去最高人数です)。今回は「反転授業」をテーマとし、2人の先生から実践事例報告をいただきました。以下は、当日のポイントをまとめたものです。報告動画やスライド資料は、[教育開発・学習支援室WEBサイト「学内FD関連動画」](#)からもご覧いただくことができます(パスワードはメール本文に記載させていただいております)。何かしらの参考になれば幸いです。(裏面へ続く)

報告1：時間がない時こそ反転授業

総合心理学科 講師 石山裕菜先生

授業中にグループワークなどを積極的に行いたいけれども、なかなかその時間がとれない！という問題を抱えていないでしょうか。その解決策の1つとして、反転授業を試みてみました。

反転授業を取り入れている科目は「環境心理学」です。人間は環境から多くの影響を受けることを知識だけでなく、体験として理解してもらうことを大切にしています。とりわけ「香りと環境」という授業回では、匂いを感じるメカニズムを知識として理解するだけでなく、同じ香りでも人によって違うもののように感じることを体験するために「源氏香（つばいこと）」に取り組みます。しかし、匂いを感じるメカニズムや香りの特性や効果などを説明し、さらに源氏香に関することや、その進め方について説明していると、それだけで授業時間を使い切ってしまいます。

そこで、源氏香に関することや、グループワークの進め方は全て動画にし、事前学習してもらうようにしました。授業で講義をしてしまうとついつい長く話してしまいがちですが、動画にしたところ **10分に収まった**というメリットもありました。また、自身が課題としてまとめたグループワークの方法を確認しながら行うことで、ワークがスムーズになりました。学生も、グループワークを通じた**気づきを多く得られるよう**になりました。

反転授業では、こうした事前学習動画を学生が見てこないという問題が起きますが、それを2つの工夫で予防しています。1つ目は、この**動画での学びを授業のグループワークで使うことを学生に明示**することです。これを見て勉強しておかないと他の学生に迷惑をかけてしまうかもしれないという意識が予習意欲につながります。2つ目は、**事前課題とセット**にすることです。動画を見てグループワークの手順を具体的に書き出して提出させるようにしています。反転授業のための動画作成の手間（1年目のみ）や、事前課題を確認する手間はかかりますが、それ以上のメリットがあり、今後も続けたいと思います。

報告2：救急救命実習にシミュレーション活動の映像を事前配布してみた！！

救急救命学科 教授 関根和弘先生

救急救命学科では、「救急救命実習Ⅰ～Ⅳ」を1コマ（100分）×3講時連続で行っています。受講生は約50名なので、1班あたり7～8名で6班をつくって進めていきます。これまでは、事前に実習に関する講義スライドを印刷して学生に配布していました。テキストに記載のない詳細な事項とポイントも明記した丁寧なスライドです。また当日は、教員がデモンストレーションを行い、学生にイメージを掴ませるようにしていました。しかし、学生はスライドを読んできません。当日のデモンストレーションも一部の学生には見えづらく、特に細かい箇所が重要なのですが、細かいところほど学生には見えないというジレンマがありました。結果、教員が何度もデモを見せなければならず非効率でした。そこで、事前学習やデモンストレーションの部分を動画教材にし、反転授業を試みることにしました。

ちなみに、デモンストレーション動画は、専門研修所が全国的に標準化したものがあり、それを活用することで**動画作成の手間を省く**ことができました。動画は手技の**細かい箇所まで丁寧に映して**おり、基礎技術を理解するのに最適でした。動画の方が学生は学びやすいようで、理解度が高い状態で実習に来るようになりました。また、**授業中でも見る**ことができるので、他の**学生が実技チェック**を受けている間に、自分たちで動画を見ながら練習するようになりました。教員も自分でデモをする必要がなくなったので、**練習やフィードバックに時間をさける**ようになりました。

授業アンケートの結果も、全項目平均が4.7ポイントとなり、学生から見ても良く学べた授業だということが分かります。反転授業という講義科目への応用がイメージされがちですが、**実習科目でも使える**ので、是非試してみてください。